

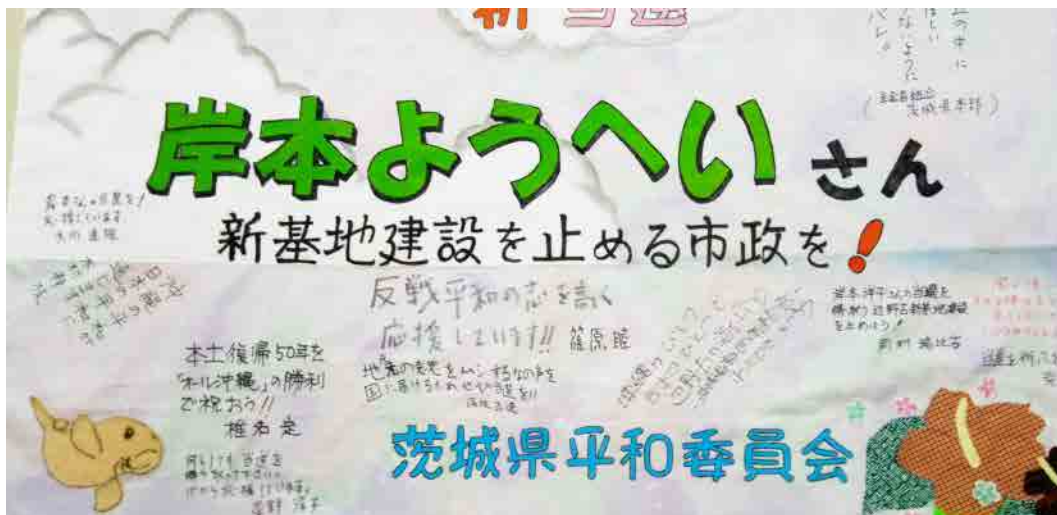
沖縄県 名護市長選勝利へ! 支援の輪を広げよう!

沖縄は今年、本土復帰から50年です。1945年4月1日、米軍は沖縄本島に上陸し、唯一の地上戦により県民の4人に1人が犠牲になりました。県民が復帰に求めたのは、日本国憲法のもとで「基地のない平和の島」でした。

しかし、県民の願いは叶わず広大な米軍基地が残っています。それどころか宜野湾市普天間基地の移転先として、

自公政権によって名護市辺野古に復帰後初の新基地建設が強行されています。「アメとムチ」を使い分けながら県民の願いに背き、欠陥機オスプレイを100機も配備できる巨大基地を造ろうと「土砂」を投入し続けています。

沖縄県名護市長選挙は16日告示され、23日投開票となります。「オール沖縄」の岸本ようへい氏が勝利し、再び「新基地ノー」の民意を示さなければなりません。岸本新市長の誕生は、参議院選挙や沖縄県知事選の原動力になるだけでなく、戦争する国づくりにストップをかける大きな力となります。



県平和委員会は、「祈 当選 岸本ようへいさん 新基地建設を止める市政を!」の寄せ書きをつくり、13日までに確認したカンパ金とともに、1月13日に発送しました。

カンパ金はこれからも県平和委員会で受け付けています。また直接下記に振込んでいただいても結構です。その際は、人数と金額を県平和委員会にお知らせください。

岸本ようへい後援会へのカンパ

郵便振替 口座番号 00930-2-284528
加入者名 「岸本ようへい後援会」

オール沖縄

「岸本ようへい氏」の勝利で新基地建設を止めよう!

「オール沖縄会議」は8日、共同代表などによるオンラインでのブルーアクションを開催。岸本ようへい氏は「デニー知事と連帯し、新基地を止めます。米軍基地由来の新型コロナ感染爆発が起きても、モノを言わない現市政の転換を」と決意表明。稲嶺進元名護市長、高里鈴代両共同代表、新垣邦男衆院議員、高良鉄美参院議員が挨拶しました。

沖商連と名護民商は8日、沖縄本島4民商の役員、事務

局員など25人が名護市の十字路で岸本ようへい氏への支持を訴えるスタンディングを行いました。ドライバーが手を振り、クラクションで激励してくれました。沖商連は、岸本後援会の4号ビラ2千枚余も一気に配りました。名護民商は会員への訪問・対話、宣伝活動などで連日大きな成果を上げています。



寒さに負けず、新春署名宣伝行動!

《水戸駅南口》

「県平和委員会」「県原水協」「県新婦人」「県商工団体連合会」の4団体は、1月6日(木)正午から1時間、水戸駅南口において日本政府に「核兵器禁止条約の批准を求める」署名と宣伝行動を行いました。粉雪が舞う寒い時間帯となりましたが15人が元気に参加しました。常陸太田市在住の教員の方が、自己紹介をしながら署名に応じてくれました。



第2回 理事会のお知らせ

<日程>

1月23日(日)

13:00~

<場所>

水戸市

見川市民センター

2022年「百里初午まつり」 みんなで準備して待っています!



百里基地反対同盟が主催する「百里初午まつり」は、2月11日(金)12時から百里平和公園で開催されます。11時からは歌声や模擬店などが始まっています。コロナ感染症対策、防寒対策をしっかりとって参加しましょう。昨年は、欠陥機オスプレイの訓練(8月)、日米共同訓練(12月)がおこなわれました。百里基地反対連絡協議会は、その都度反対集会等を開催しました。今年も同様の訓練を許さない大きな反対運動が求められています。自公政権の憲法破壊、軍事力強化、軍事費増、9条「改憲」を阻止するために力をあわせましょう!

「かすみがうら平和の会」

今年も平和の取り組みを進めます!

「創意工夫の活動を」 《会長 立花 和雄さん》

コロナの状況はあまり変わりませんが、創意工夫で活動を作り出せるようにしたいと思います。同時に会員を増やし会の目指すものが少しでも前に進めるようにしたいと思います。みなさん!健康に留意して体を鍛えながら(笑)今年も平和の会を共に盛り上げて行きましょう。

「憲法9条を何としても守る」 《佐藤 けい子さん》

あけましておめでとうございます。筑波山神社に毎年恒例の初詣に行ってきました。新年早々、コロナ感染拡大の大波がまた押し寄せる気配、そして、気候変動の危機や世界の政治状況を見ても、平和で、未来に誰もが希望を持てる年明けとは言い難い。改憲の動きも目立っている。何としても「世界に誇るべき憲法9条」を守っていききたい。神頼みではなく、自分で一步でも二歩でも動いていこうと、思いを新たにしてお正月でした。

「戦争はするな!」 《小林 良一さん》

太平洋戦争では、軍人、軍属に民間人を加えて国内で310万人が亡くなったと云われます。こうした悲惨な戦争の反省の上に現憲法では9条で「国際紛争の解決の手段として戦争と武力の行使を放棄し、その目的を達するために陸、海、空軍その他の戦力はこれを保持せず、国の交戦権は認めない」としています。

岸田政権は「敵基地攻撃能力の検討」を所信表明で述べるなど、9条改憲と一体の大軍拡路線を進めようとしています。軍事費予算は年々増額され今年度の予算は過去最高の5.4兆円が計上されました。更に、予算と同額程のローンを組み、米国製兵器の爆買いを将来に渡って続けようとしています。憲法9条の中身を変え、日本を米国と共に「海外で戦争の出来る国」にしようとするものです。先の衆議院選挙では憲法改正に賛成する議員が2/3を超え、7月の参議院選挙でも同様に2/3を超えれば、国会での憲法「改正」発議が可能となります。それは絶対許せないことだと思います。

いま人口の8割超が太平洋戦争後生まれといわれる中で、かつての太平洋戦争の教訓を学び、知ることは日本の未来にとって欠かせないと思います。「戦争は勝っても負けても幸せなことは何もない。戦争はするな!」とは数少なくなった戦争体験者の共通の言葉です。岸田政権は、安倍・菅政権の悪政をひきつぎ、平和と民主主義の危機は何ら変わっていません。コロナ禍で、まだまだ先行き不安な状況ですが、いろいろなことで、さらにとんでもない事態にならないように運動を広げていきたいと思えます。かすみがうら市は、「非核脱原発平和都市宣言」(2013(平成25)年3月28日)で、核兵器のすみやかな廃絶と、脱原発で地球環境に優しいエネルギーにより、穏やかで平和な暮らしが営める環境が創出されることを期待し、世界の恒久平和を希求しています。この「宣言」は他には無い画期的なもので、大事に発展・具体化していかなければと考えています。

「改憲NO!のスタンディングに参加を」 《石井 ヒロ江さん》

2022年を憲法「改正」の年にしてはなりません。新たな決意で「9条まもろう」のメッセージを掲げて街角に立ち続けたいと思えます。みなさん、スタンディングにご参加ください。(毎月第3日曜日、午後3時30分から4時まで千代田ショッピングモール裏神立停車場線交差点付近です)

「短歌で平和を希求する中高生」 《事務局長 石井 明さん》

毎年、朝日新聞社が主催し、岐阜県高山市が共催。高山市教育委員会が後援し、平和への思いを読んだ短歌のコンクールが行われていると聞いた。インターネットで検索すると、昨年で13回目。毎年の応募は約2000首で、一般の人の応募より、中高生の応募の方が多いという。学校ぐるみで参加している例が多いからだ。嬉しくなった。平和を求める集会というに参加者はいつも高齢者ばかりという印象しか持っていなかったが、こんな取り組みをしている学校もあると知れたから。(短歌は省略させて頂きました)

平和かわら版

【平和新聞茨城版】

発行 茨城県平和委員会

〒310-0912水戸市見川5-127-281 Tel/Fax 029-251-2806

No.929

2022 1. 15

E-mail: i-peace877@silk.plala.or.jp

情報&交流

茨城県平和委員会FaceBook

www.facebook.com/groups/449291196000108

